

案内

講演会「困っている子どもたちとネット・ゲーム依存との関係」

心理学的な観点から、孤独・孤立状態や不登校、発達障害、生きづらさを抱えた子どもたちとネット依存（SNS・ゲームなど）の関係についてお話しします。

●日時／2月15日（土）10時30分～12時（受け付け開始10時～）

●場所／きび保健福祉センター2階多目的ホール

●対象／どなたでも無料でご参加いただけます。

●定員／30人（先着）

●申し込み方法／次の二次元コードからお申し込みください。



●主催／NPO法人PeerNet

（ぴあ・ねっと）有田川町ひきこもりサポート事業EL・BASE（える・ベース）

●講師／小山秀之さん

（PeerNet理事長・横浜市立大学客員准教授・内閣府こども家庭庁アドバイザー）

問 EL・BASE（える・ベース）
☎ 080・3771・9360

令和6年度 湯浅保健所 家族教室のご案内

●日時／3月5日（水）13時30分～15時

●場所／有田振興局3階 大会議室（湯浅町湯浅2355・1）

●内容／引きこもり状態にある人の理解と対応

●講師／宮西照夫さん（和歌山大学名誉教授・NPO法人ヴィダ・リブレ理事長）

●定員／30人（先着・無料）

●申し込み方法／電話かファクスにて氏名・連絡先・特別な配慮（手話通訳や車椅子など）が必要かどうかをお知らせください。

●申込期限／2月26日（水）

※特別な配慮が必要な場合は、2月19日（水）までにご連絡ください。

問 湯浅保健所保健課

☎ 64・1294
ファクス 64・1290

糖尿病からの透析導入を避けるために

NPO法人和歌山県腎友会は、透析治療をしている患者の団体です。昨今、生活習慣の乱れから糖尿病を患い、人工透析を導入される方が非常に増大しています。この傾向は、糖尿病を甘く見すぎ、健康診断

やかかりつけ医の指示に従わないことが原因の一つです。

糖尿病を患い、透析導入される方は、既に動脈硬化症で手足の冷え・しびれがあり合併症の症状が現れ、週3回4～5時間の透析治療に耐えられない患者さんも多く見受けられます。腎臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、体に異常が出たとき既に手遅れです。一生続く辛い透析治療を避けるために、特定健診や定期健診、かかりつけ医の受診を受け、早期発見に努め、重篤化予防に努めましょう。

●糖尿病から透析導入になった方の声

・針金のような太い針を動脈・静脈の2カ所に毎回刺されるのが痛く、4～5時間、ベッドに寝たきりの透析が非常に辛いし疲れる。
・週3回の4～5時間の透析が一生続くと思うと後悔の念に駆られる。
・健診で糖尿病と言われたとき、病院に通院し、食事管理など医師の言うとおりに従っていればよかったと今さらと思う。
・日常の行動に制約があり、気分的な負担が大きい。
・水分管理や体重のコントロールが非常に難しい。

問 特定非営利活動法人和歌山県腎友会

☎ 073・427・1220